

**市道和板系瀬線トンネル工事  
安全祈願祭**

全長233m  
平成20年3月に完成予定



市道と板系瀬線トンネル工事の安全祈願祭が10月4日、豊玉町和板のトンネル建設予定地付近で行われました。

トンネルは、全長233m、幅員5.5mで事業費は約4億円。平成20年3月に完成予定で、現在の道路を距離にして315m、車で走行した場合、時間にして2〜3分の短縮となります。

市道と板系瀬線は、国道382号線の豊玉町和板を起点とし、同町系瀬を結び1400mの路線で、平成14年から改良工事に着手しており、同

トンネルを含め総事業費約14億円をかけ平成21年3月の開通を予定しています。

安全祈願祭には、市、工事関係者、地権者ら約30人が出席。神事を行い工事の安全を祈りました。

写真は安全祈願祭が実施されたトンネル建設予定地付近

**県下二音防犯パトロール  
犯罪のない地域社会を目指して**



対馬市交流センターでの啓発活動の様子

「安全・安心まちづくりの日」の10月11日、地域ぐるみでの自主防犯活動の輪を県下各地に広げ、犯罪のない安全で安心な地域社会を実現しようと、県下一斉防犯パトロールが実施されました。

長崎県警によるパトロール

の呼び掛けに、県内の398団体、約5600人が参加。対馬では4団体、約50名がそれぞれの地域で防犯パトロール等を実施しました。

対馬南警察署管内では、同日午後1時に同署でパレードの出発式が行われ、対馬南地区防犯協会の会員が、管内を車両パレード。チラシ等の啓発物資を配布するなど広報活動を実施しました。

一方、対馬北警察署管内では、上対馬町大浦のスーパー駐車場で対馬北警察署、少年補導員らが参加しての防犯パトロールが実施され、来店者へのチラシや防犯グッズの配布を通して、マイカーの施錠確認や犯罪防止を呼びかけました。



上対馬町大浦のスーパー駐車場で啓発の様子

**県精神保健福祉協会より  
功労賞を受賞  
ボランティアグループ「やまびこ」**



10月7日、大村市の「シーハット大村」で開催された第26回長崎県精神保健福祉大会で、上県町佐須奈の地域精神保健福祉ボランティアグループ「やまびこ」が功労賞を受賞しました。

「やまびこ」は、5年前から同地区の精神障害者地域活動所「さわやか」で通所者とのふれあい活動や、精神障害者に対する正しい知識を広めるため、チラシによるPR活動も取り入れるなど活発な活動を行っています。

同グループの田村健二代表は、活動に興味がある方は最寄りの地域で開催される精神保健福祉ボランティア講座を受講してください」と話していました。

**新民生委員・  
児童委員を  
紹介します**



委嘱状を受け取る木屋むつ子さん

前委員の退任等により、平成18年10月4日から新たに就任された2名の委員さんをご紹介します。

日常生活での悩み等ございましたら、お気軽にご相談ください。

殿原町(担当地区：日掛・上山)

木屋むつ子さん

56 0483

上対馬町(担当地区：舟志)

古藤 定さん

86 2645

なお、任期は、平成19年11月30日までです。

ツシマヤマネコ  
国際ワークショップの  
最終報告書が完成



完成した報告書を手につ  
実行委員会委員の村山晶さん

今年の1月、ツシマヤマネコPVA実行委員会の主催で開催されたツシマヤマネコ保全計画づくり国際ワークショップでの成果をまとめた最終報告書が完成しました。

ワークショップでは、国内外の専門家、行政関係者や住民など119名が参加し、ツシマヤマネコ保護対策の具体的な行動計画が策定されました。このワークショップでの提案を受けて、行政や民間等によって、すでに様々な取り組みが各方面で実施されています。

報告書(電子情報)をご希望の方は、対馬野生生物保護センター(Eメール [twcc97@yahoo.co.jp](mailto:twcc97@yahoo.co.jp))までお問い合わせください。また、印刷製本したのも、同センターで一部1500円(送料2100円)で配布されています。

「赤い羽根空の二便」  
対馬へ



赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式

赤い羽根共同募金活動が始まった10月1日、福岡から対馬への1番機、ANA4931便で、「赤い羽根空の二便」が対馬空港に届けられました。搭乗待合室で伝達式が行なわれ、一番機搭乗の客室乗務員中島恵さんから、厚生労働大臣と中央募金会会長のメッセージと赤い羽根が、市長、社会福祉協議会会長に伝達されました。

「赤い羽根空の二便」はANAグループの協力で昭和37年から始まり、今年で47回目で、対馬をはじめ、全国39ヶ

所で行われています。

また、今回はANAグループが共同募金運動のため制作した「ふわふわジャンボ赤い羽根号」も届けられました。

体験フラザ  
「かみつしま」で  
磯釣り体験



10月1日、上対馬町の舟志湾で市教育委員会主催の体験フラザ「かみつしま」が行われ、上対馬町内から小学4年生以上の受講生16名と保護者10名が参加し、磯釣りを体験しました。

絶好の釣り日和となった当日、参加者はアラカブ、ペラ、ハゼ等を釣り上げ、歓声を上げていました。

秋の全国交通安全運動



上対馬町比田勝での啓発活動の様子

9月21日から30日まで秋の全国交通安全運動が実施され、市内各地で啓発活動が行われました。

上対馬地区では、9月25日に街頭キャンペーンが実施されたのに併せて、ツシマヤマネコの事故防止も呼びかけました。



こちらは美津島町ナイルでの様子

まちづくり講習会

魅力あるまちづくりを学ぶ



10月9日、「魅力あるまちづくりとは」をテーマに広島県安芸高田市と三次市から講師4名を招き「まちづくり講習会」が対馬市商工会上対馬支所で開催され、市民約30人が参加しました。

講習会では、安芸高田市で実際に実施された「まちおこし事業」を中心に、特産品、景観、デザインなどの様々な角度から魅力ある地域づくりについて講義が行われました。参加者は、通常とは違った視点でのまちづくりの方法に関心を示し、講師の話に熱心に耳を傾けていました。

比田勝海上保安署職場体験  
監視取締艇「たづらす」を操船



10月17日からの3日間、上対馬町豊中学校二年生の板井優哉くんが比田勝海上保安署で職場体験しました。

制服に身を包んだ板井くんは、監視取締艇「たづらす」に乗り込み操船を体験。波高1.5mの海面を高速で疾走する「たづらす」は、穏やかな波からは想像できないほど揺れましたが、職場体験を終えた板井くんは、「船の操船は楽しかったです」と感想を話しました。

海上保安官は映画「海猿」の影響で現在、非常に人気の高い職種となっています。

吉津卓夫船長も「ぜひ将来は海上保安官になって欲しい」と期待していました。

基地開庁50周年行事を開催  
航空自衛隊海栗島分屯基地



飛行するF-2戦闘機

9月30日、上対馬町鰐浦の約1.5km沖合に浮かぶ航空自衛隊海栗島分屯基地で、開庁50周年を祝う記念行事が開催されました。

秋晴れに恵まれた当日、基地内のグラウンドでは記念式典が開催され、自衛隊関係者や地元住民など約200名が参加しました。また「辺要の精鋭」と刻まれた記念碑が建立され、除幕式も行われました。

この日は基地が一般公開され多くの市民が海栗島へ上陸。式典や地上訓練をはじめ、基地上空に飛来したF-2戦闘機、T-4練習機などによる迫力あるデモンストレーション飛行や、UH-60J救難ヘリコプターによる救助訓練を見学しました。

陸上自衛隊対馬駐屯地  
創立記念行事



10月1日、陸上自衛隊対馬駐屯地創立26周年記念行事が行われ、駐屯地グラウンドでの記念式典や対馬市交流センター前の県道での市中パレードが行われました。

また、駐屯地が一般開放され、隊員らの美術展や戦闘車両試乗、野点、こども広場などに訪れた家族連れでにぎわいました。

海自自衛隊の装備を見学  
ミサイル艇・掃海艇二般公開

海上自衛隊の最新鋭のミサイル艇「しらたか」と同型艇の「くまたか」の2艇が9月23

日、厳原町久田岸壁で一般公開され、数多くの市民が乗艦しました。

ミサイル艇は小型高速艇で日本の周辺海域に侵入してくる不審船等に対する警戒及び沿岸防備が主な任務となっており、「しらたか」とくまたか(排水量200トン全長50.1m)の最大速度は44ノット(約80km/h)で、艦対艦ミサイル、76ミリ速射砲1基、12.7ミリ機銃2基を備えています。

艦内では自衛隊員が丁寧に装備や性能などについて説明を行い、訪れた市民は高度な装備を興味深そうに見学しました。

また、21日には機雷排除を行う掃海艇「なおしま」も一般公開され、こちらも市民の関心を集めていました。



公開されたミサイル艇

芸術の秋！  
市民の力作にふれる  
第3回対馬市民美術展



対馬市交流センターでの様子

芸術文化活動の振興を目的に、広く市民から美術作品を募った第3回対馬市民美術展が、厳原町の対馬市交流センターで10月11日からの5日間と、峰町佐賀の中対馬開発総合センターで10月17日からの6日間、開催されました。

今年の美術展には、市内の各地から、洋画(14点)、日本画(9点)、書(6点)、彫塑(工芸)(35点)、写真(10点)の合わせて74点の出品がありました。会場には、期間中約1300人の入場者が訪れ、市民の力作を食い入るように見つめていました。

和(わ)多(た)都(づ)美(み)神(じん)社(に)古(こ)式(しき)大(たい)祭(さい)  
(仁位)



豊玉小学校児童による卯麦地区に伝わる奉納踊り「様の姿」の様子

9月22日、豊玉町仁位の和多都美神社で恒例の古式大祭が行われました。

和多都美神社は、彦火火出見尊と豊玉姫尊を祭る海宮で、古くから龍宮伝説が残されており、本殿正面の浅茅湾の入り口に立つ神秘的な大鳥居が有名です。

祭では、神事と共に地元児童らによる郷土芸能や奉納相撲、舟グロ―大会や演芸大会などが催され、多くの参加者を楽しませました。

海(かい)神(じん)社(しゃ)古(こ)式(しき)大(たい)祭(さい)  
(木坂)



9月26日、峰町木坂の海神社で、恒例の古式大祭が行われ、神輿の御降りや御旅所での奉納神事に加え、境内では地元住民らに参加しての、奉納相撲や演芸大会などが行われました。



海神社大祭での神輿

同神社は、対馬国一の宮といわれており、当日は早朝から多くの参加者が集まり、約300段の長い石段を登って、拝殿に向かい手を合わせていました。

八(やち)幡(ばん)宮(みや)神(じん)社(しゃ)古(こ)式(しき)大(たい)祭(さい)  
(厳原)

10月6日、厳原の八幡宮神社の古式大祭が行われ、境内には露店も出て、たくさんのお客で賑わいました。

老(ら)人(にん)た(た)ち(ち)が(が)楽(らく)し(し)く(く)交(こう)流(りゅう)  
ペ(ペ)タ(タ)ン(ン)ク(ク)交(こう)流(りゅう)対(たい)馬(ば)大(たい)会(かい)



10月4日、豊玉町総合運動公園で(財)長崎県すこやか長寿財団、対馬市社会福祉協議会等の主催によるペタンク交流対馬大会が開催されました。

た。

気軽にできる高齢者向けスポーツとして「ペタンク」の普及と高齢者の地域間交流の促進を目的に開催されたもので、大会には島内各地の老人クラブの会員141名が参加し、37チームに分かれて得点を競いました。

ペタンクは、南フランス生まれのスポーツで、近年国際的な広がりを見せています。競技はチームに分かれ重さ約700〜800gの金属製のボールを標的のへ向けて投げ、近さにより得点を競うゲームです。

参加者の一人は「ゲートボールと比べて、体力的にも精神的にも楽。ゲームの駆け引きに頭を使うため、とても楽しいです」と話していました。さわやかな秋晴れの下、会場では多くの参加者が和気あいあいとした雰囲気の中で、競技を楽しんでいました。

【大会結果】

- 1位 トーナメント 優勝：やまねこクラブ(上県)
- 2位 塩浜B(豊玉)
- 3位 仁位天神(豊玉)

厳(いづ)原(はら)少(せう)年(ねん)剣(けん)道(どう)部(ぶ)が(が)準(じゆん)優(ゆう)勝(しょう)  
西(せい)九(く)州(しゅう)親(しん)善(ぜん)少(せう)年(ねん)剣(けん)道(どう)松(しょう)浦(うら)大(たい)会(かい)



選手左から：中村恵夢さん、天野真歩さん、井川幸美さん

10月8日、松浦市文化会館で第11回西九州親善少年剣道松浦大会が開催され、厳原少年剣道部が中学女子団体の部で準優勝に輝きました。

同種目には、長崎、佐賀の両県から20チームが出場。強豪が集まる中、2回戦から出場した厳原少年剣道部は、川棚興雲館道場(東彼杵)、伊万里中学校(伊万里)、山代中学校(伊万里)を次々と破り決勝に進出しましたが、真津山少年剣道会(諫早)に破れ惜しくも初優勝は逃しました。

また、中学男子団体の部では佐須少年剣道クラブがベスト8に入る活躍を見せました。

雑知中学校 2年連続アベック優勝 中学校駅伝大会



雑知中学校駅伝チームのみなさん

10月6日、平成18年度対馬市中学校体育大会駅伝競技大会が、峰町運動公園陸上競技場（狩尾方面折返しコースで開催され、市内の全中学校から男女それぞれ19チームが出場。男子6区間20km、女子5区間12kmのコースで、熱戦が繰り広げられました。

男子の部では、レース序盤から雑知中と敵原中のトップ争いが繰り広げられましたが、雑知中が途中で抜け出しそのままトップでゴール。

女子の部では、同じく雑知中が1区から最終区まですべての走者が区間賞を獲得する完璧なレース運びで優勝。2年連続となる男女アベック優勝の快挙を成し遂げました。

その他、昨年度の記録と比較して最も記録を短縮したチームに贈られる躍進賞は、男子が浅海中学校、女子が久原中学校が獲得しました。

なお、男女上位2チームは、11月9日に諫早で開かれる県中総体駅伝競技に、対馬代表として出場します。

【成績】《男子》 雑知中学校 1時間7分29秒 敵原中学校 1時間8分5秒 加志々中学校 1時間8分16秒 豊玉中学校 1時間9分13秒 比田勝中学校 1時間9分54秒 久田中学校 1時間11分14秒  
《女子》 雑知中学校 43分35秒 比田勝中学校 45分12秒 豊玉中学校 45分40秒 東部中学校 46分11秒 敵原中学校 46分16秒 大船越中学校 46分42秒

秋晴れのもと  
小中学生477名が競技  
対馬ジュニア陸上大会



男子A 1500m 決勝のスタート

晴天に恵まれた10月15日、第27回対馬ジュニア陸上競技選手権大会（つしまライオンズクラブ・対馬市陸上競技協会主催）が峰総合運動公園陸上競技場で開催され、市内から477名（男子251名、女子226名）の小中学生が参加して競技が行われました。会場に足を運んだ大勢の保護者の応援を受けて、選手たちは懸命に競技しました。なお、今大会で唯一の大会新記録は、横山七海さん（久田小）が女子5年800mでマークした2分37秒4でした。

5つの大会記録が誕生  
上原町小学校体育大会

10月11日、仁田小学校運動場で上原町小学校体育大会が開催され、会場に詰めかけた保護者の熱い声援を受け、子どもたちが一生懸命競技に臨みました。大会に向けて練習してきた成果を発揮し、5つの競技で新記録が誕生しました。



8競技で新記録  
敵原町小学校体育大会



10月13日、敵原町総合運動公園陸上競技場で第10回敵原町小学校体育大会が開催されました。天候にも恵まれ8つの大会新記録が誕生しました。

【競技結果】 大会新記録のみ掲載。（敬称略）  
【男子】《1000m》 3年〃阿比留悠人（佐須奈）16秒9、小川孔高（佐護）17秒0  
【女子】《1000m》 3年〃糸瀬有沙（仁田）16秒4、橋本海（佐須奈）17秒2、港碧巴（仁田）17秒9  
【男子】《1000m》 5年〃松原弘輝（久田）3分25秒0  
《走幅跳》 6年〃太田駿（敵原）4m16《400mR》 6年〃敵小1班58秒2  
【女子】《800m》 5年〃横山七海（久田）2分39秒1  
6年〃阿比留瞳（久田）2分41秒9  
《400mR》 6年〃敵小1班1分1秒1《走高跳》 6年〃本村麻美（久田）1m21  
《ソフトボール投》 4年〃斉藤瑞希（敵原北）30m52

第34回  
上対馬町小学校体育大会



秋晴れに恵まれた10月13日、比田勝小学校グラウンドで第34回上対馬町小学校体育大会が行われました。この日に向けて練習を積んできた子どもたちは、力を発揮しようとして懸命に競技に臨んでいました。

【競技結果】 大会新記録のみ掲載。(敬称略)

【女子】《50m》 4年＝宮原奈々(豊) 8秒9、梅野茜比田勝(8秒9、平間有里菜(比田勝) 9秒0《走幅跳》 3年＝西原芽生(比田勝) 2m89 4年＝宮原奈々(豊) 3m20《ソフトボール投》 3年＝浦田彩(比田勝) 21m90 4年＝島居希(比田勝) 29m57、扇夏希(南陽) 26m26

総勢336名が参加  
峰町ボールフェスティバル

10月8日、地域のスポーツ愛好家が一堂に集い、第5回峰町ボールフェスティバルが開催されました。

小学生からお年寄りまで総勢336名が参加し、選手たちは応援に駆けつけた家族の声を聞き、さわやかな汗を流し親睦を深めました。

ソフトボール、ミニバレー、ゲートボール、ドッジボールの全4競技、全31チームにより勝敗が争われ、各会場では珍プレー、好プレーなど見られる中、上位に上がるに連れて息詰まる熱戦が繰り広げられました。



さわやかな秋の中、熱戦  
豊玉町スポーツ大会



10月8日、さわやかな秋晴れのもと豊玉町スポーツ大会が開催され、ソフトボール(ファーストピッチ、スローピッチ)、ミニバレー、グラウンドゴルフで熱戦が繰り広げられました。

各地区代表の選手の間では、日頃の練習の成果を発揮する人、久しぶりにスポーツを楽しむ人など、さわやかな汗を流し、楽しい一日を過ごしました。

【大会結果】(優勝チーム)  
ソフトボール・ファーストピッチ 仁位ノスローピッチ 小綱ノミニバレー 仁位Aノグラウンドゴルフ 仁位A

フアイングレに歓声  
老人クラブ 厳原支部  
グラウンドゴルフ大会



競技に励む皆さん

10月17日、厳原町の清水ヶ丘グラウンドで、老人クラブ 厳原支部による平成18年度グラウンドゴルフ大会が開かれ、24チーム、約140名の老人クラブ会員が腕を競いました。

夏のように熱くなった当日でしたが、参加者は仲間と和気あいあいとした雰囲気の中で、競技を楽しんでいました。なお、上位入賞の5チームは、11月17日に開催される全島大会に出場します。

【成績】(団体) 天道会A 212打 日吉台A 218打 上槻C 223打 久田道老人クラブ 223打 日吉台B 232打

対馬市老人クラブゲート  
ボール大会(上対馬予選)

9月29日、上対馬総合運動公園で第3回対馬市老人クラブゲートボール大会(上対馬予選)が行われました。

大会には、8チーム60名が参加。10月25日に開催される本戦出場をかけて熱戦が繰り上げられました。

大会結果は、一般の部優勝・なるたきチーム、準優勝・銀杏Bチーム、三位・豊チームとなり、女子の部では、大河内Bチームが本戦出場の切符を手に入れました。

